

■ 70代・男性

緩和ケア（国として）緩和ケアの実態を知りませんが、この充実ができれば有難いと感じています。既に実施されているかもしれませんが、麻薬由来の薬を厳しく制約しない様な体制を希望します。

■ 70代・男性

医師からの説明が不十分で、わかりにくい所が多かった。

■ 70代・女性

若い頃は職場のドックがん検診を退職してからは市のがん検診を受けて来ましたが、●才でノドの痛みで耳鼻科で検査を受けましたが痛みのわけがわからず2ヶ月後に中咽頭の組織の手術を受けて悪性リンパ腫である事がわかりました。同じガン検診するなら何とか、血液でもガン検診をして下さったら私の様にステージ4で見つかるなどなくなるのではないかと思います。たまたま良い抗ガン剤で治療して下さったお蔭で寛解となり日々幸福に暮らせて頂いております。

■ 70代・女性

乳ガンになる20年位前に人間ドックで乳腺で引っかかったのですが1度市民病院で再検査を受けて「又、半年後に来院する様に」と言われましたが仕事も多忙で行きませんでした。その後乳ガン検診の通知もありましたが行きませんでした。行っておけば良かったと今は思います。一人でもそんな思いをしない様にと周囲の人には「乳ガン検診」に行く様に進めています。術後7年経過していますが私の場合は少し特殊らしいので今でも投薬を続けています。投薬を続けているから再発もないのかも？と思っています。（●●(病院名)）の●●先生は私の命の恩人です。

■ 70代・女性

副作用の話しを、冊子だけでなく説明をしてもらえたらと思います。薬を飲み始め副作用の心配ばかり長期間続けられるか心配。何でも冊子を読んで下さいと渡されます。

■ 70代・男性

微妙な収入増で医療費の窓口負担割合および高額医療費支給制度の自己負担限度割がハネ上がる。これはがん患者にとって非常にきびしいものがある。何等かの緩和処置の設定をお願いしたい。

■ 70代・男性

自分の趣味やボランティア（演奏をする）が、出来ているので治らないが治療によってまずまずの生活が可能という状態で満足できている。

■ 70代・女性

入院中も皆さんに気を使って頂き、穏やかに過ごせました。ありがとうございました。Drの元気な声で少しでも気持ちが和らぎよかったです。退院後も通院も何とか頑張っています。

■ 70代・男性

町医者に2ヶ月毎に健康診断を受けていましたが胃がんと言われた時（●●(病院名)）かなり進行していました。がんの早期発見は無理なのでしょうか？

■ 70代・男性

がん医療制度、支援などはほぼ出きていると思う、これからもよろしくお願いします。

■ 70代・男性

高額療養費を受けているが、経済的には苦しくて療養費・交通費の補助をお願いできないか。

■ 70代・男性

4～7月まで約1週間の入院で抗ガン剤治療でした。最も困ったことは、することがないことです。朝食は7：00、いつも私は、4：30起床朝めし5：30、夕食は18：00 家では19：00、午後6時の夕食後は、朝まで、長すぎる時間です。衾一枚ならぬカーテン一枚で隣の患者、極力窓側の病室を希望しました。窓を外けて外気と触れられるからです。8月5日から4日間の副作用発生に伴う緊急入院後は、日帰り抗ガン剤+採血、レントゲン、CT撮影が続くと思います。

■ 70代・女性

今年の7月いっぱい仕事を退職しました。ヒザの具合が悪くて、仕事に支障を来たしました。ホームセンターに勤めていましたが体力の限界でした。今は娘に治療費を何とか出してもらってますが何時まで続くかわかりません。医療費が一番の支援をお願いしたい所です。

■ 70代・女性

乳ガンで、もう少しで2年を迎えます。主治医を信頼出来、自分で、出来る事（薬、食事、運動）を心掛け日々、過ごしています。細いな事にも、敏感になり、“再発”かと思い、ドキドキします。1日、元気で過し、朝、目覚められる事に、感謝しています。“当たり前”だと、思っていた事が、そうでないと分かり、只々、今まで無事に、過せた事に感謝します。自分に、出来る事、やれる事をして、1日を過しています。

■ 70代・女性

通院治療で病院に行くのがたいへんで院内で4階の通院治療センターまで歩けないのでこまっています。

■ 70代・女性

がん患者に対する、医療費の補助を県独自の制度を考えて欲しい。国には非課税世帯、身体障害者などに対する制度はあるが現実、その制度を受ける事のできる国民にもボーダーラインが有り、線引きのライン、ギリギリに該当できない世帯の者はこの物価上昇も有り、納税もし、実際がんにかかった私は平等じゃない！と心が落ち込み、不安な年金生活を送っております。子供達にも我々子育てしていた頃と比べるとすごく充実した補助が有り、なんだか今の私は年齢もいき、置いてきぼりなのか？！と思ってなりません。がんは小さな子供から老いた我々迄あらゆる方々の病気です。どうかボーダーラインもなく、県独自の何らかの補助制度を考えて下されれば勇気を頂けます。よろしくお願い致します。

■ 70代・男性

毎月の治療代が年金収入者には厳しいです。あらゆる税金の軽減があればと思います。

■ 70代・男性

がん検査の実施と取り組みを増やす対策が必要である。どこで検査を受けられるかの医療機関の紹介先等。

■ 70代・男性

退職後に発症のため、特に仕事に影響はなかったが、自分の趣味に大きく影響した。

■ 70代・男性

自分の事は自分です。→むつかしいがガンバル！！

■ 70代・男性

薬の内容が良くなっているのがありがたいが、価格は現在高すぎるので、厳しい。より一層の医療制度の充実を望んでいる。

■ 70代・男性

がんと診断された時は不安、心配でしたが様々な情報や先生方の説明、サポートで徐々に安定し、今では以前どうりの安定した生活をおくっています。一人では不安ですが皆様と対応することがなにより心強いです。

■ 70代・男性

私は現在の治療や支援体制に満足しておりますが、これは皆様の努力によって実現されたものだと思います。ありがとうございます。

■ 70代・男性

がん告知の際医者について。患者側に立ったカウンセリングマインドを身につけてほしい。伝えられる側はやはりきつい。十分な配慮がほしい。

■ 70代・女性

今まで通りの生活をしております（現在）このまゝ今と変わらない生活が出来ればいいのですが…

■ 70代・女性

病院の先生、看護師の方々、リハビリ・ケアの方々やさしく、ていねいに説明して下さり安心して手術も出きました。心配して受けている治療には、やさしく接してもらえるのが、何よりの薬でした。今は命の大切さに感謝して毎日を過ごしています。（●●病院）

■ 70代・男性

子供・若い人に十分な治療が受けられる様に支援してほしい。2人に1人の割合でがんになると聞いていても自分となるとかなり精神的にやられます（性格にもよりますが）家族が安く泊れる所があると助かる。（病院の近くで）

■ 70代・男性

特になし。

■ 70代・女性

70才まで生きられたので、病名が判るだけでよいと思っていた。医師からは、今は90才まで生きられると、命を救う、治療するのが仕事なので治療して手術を受けることに（10月1日）なりました。治療費のことも心配だった。少ない年金生活者でしたが70才以上高齢者のため2割負担で低所得所帯で限度額制度を利用して治療が受けられた。今現在病気、ガン、死には不安がない。

■ 70代・女性

気軽に参加出来る同じ病気の集いが色々な地域にあると出席や話を聞けたらと思います。

■ 70代・男性

特に問題ありませんでした。

■ 70代・女性

抗ガン剤治療の副作用が無かったので良かったです

■ 70代・女性

たまたま入浴中に胸のしこりに気づき乳がん検査を受けました。乳がん告知より主治医に寄りそって頂きとても心強かったです。しっかり目を見てこちらの話もよく聞いて下さり、誠実に答えて下さり、信頼できる主治医に出会えたことが有難かったです。私はとてもラッキーだったと思いますが、病気になってそれまでの生活習慣や自分はがんにならないだろうという慢心を反省しています。特に若い方には検診を受けて頂きたいですし、がん患者の心のケアを支援する事が大事だと思います。

■ 70代・女性

今のところ痛みも無く、家族に助けられて、穏やかに日々を送っています。今後の事は病状次第でその都度考えて行きたいと思います。

■ 70代・男性

潰瘍やポリープの経験はあったが、今回がんと診断され、速やかな摘出を勧められた。手術終了後までは精神的なつらさはあったが、経過もよく日常生活には不足なく、適切な医療を受けられた事に感謝している。自分から進んで検査を受けようと考え行動した事が、早期発見につながったと思われるので、早期の検査が大切であり、又、自身で受けようとする事が必要である。

■ 70代・女性

がんが特別な病気という認識が少なくなっているように思われます。告知時は大きなショックを受けましたが、治療法の進歩に救われました。主治医や医療スタッフに恵まれたことが、病気に向かい合える最大の要因で感謝いたしております。早く特効薬が出来ればと願っております。

■ 70代・女性

がんになっても在宅介護を受けながら自宅で、家族とともにともに暮らせるように支援してほしい。（重い障がいのある子どもも含む）がんは症状が多肢にわたり抗がん剤の副作用は複数の診療科にかかわる。現状では「他の診療科に診てほしい（相談）」と言われ、十分に対応してもらっていないと感じる。

■ 70代・男性

手術後再発の不安は常にある。2～3ヶ月に1回の血液検査の結果と、主治医の先生に会うことで安心を得ている。再発した場合、相談支援センターや、がん患者サロンを利用したいと思う。

■ 70代・男性

がんが再発しないこと、がんが絶滅することを日々願っている。

■ 70代・女性

癌と確定する前より、治療に対する情報やサポート体制についても説明を受けました。どうしようと悩む間もなく、今出きる最大の対応を受けられることが出来ました。家族のサポートは心強く、自分自身が自分らしくすごすことが大切だと思い日一日一日をすごしています。家族はじめ、医療従事者の皆さんには感謝です。

■ 70代・女性

緊急に入院、「癌」の治療。初めは不安（病気）と家族の日常の生活の心配等、医師から説明を受けていても、理解するまでに時間がかかりました。入院している間に、スタッフの方々、それぞれDrも、もちろん熱心に取り組んで頂き、お仕事とは言え、励みにさせてもらいました。高齢者なりに、努力して、先ず、病気のことを少しでも理解していなければとパワーを頂いた気がします。まだ治療は続きそうですが、気持ちに負けず、真剣に頑張ります。

■ 70代・男性

一日も早く治る事をめざしている。

■ 70代・女性

私が京都のクリニックを選んだ理由の一つには、“日帰り”があります。滋賀県にはなかった？と思います。子供も成人していますが入院よりはと
思い、又、今後通院するにも駅から近い方がいいと思いました。

■ 70代・女性

励ましてくれる人がいると力になりました。

■ 70代・女性

何事に対してもネガティブに考える様にしている。

■ 70代・男性

高額療養費用制度に助けられている。

■ 70代・女性

介護保険を受けていない者でも、そういう施設を使用出来る様に…。日常生活リハビリステーションを希望します。

■ 70代・女性

まち時間の長いことに不満です。先生の忙しいのはわかりますが、予約時間の意味がないと思います。がんになった人は強がりと言っても心の中
はさみしいと思う。先生はやっぱりやさしい気持で接してくれる人がいい。先生の一言がはげみになることがいっぱいあるのに…と思う。なんと
言う、そんなことを言うのかと思う事が多々あります。

■ 70代・男性

5年前に胃の約4割を摘出する手術を受け、治療及び再発の有無を調べてもらってきました。おかげさまでこれまで再発はありませんでした。早
期発見と今の進んだ医療がなければ、おそらく祖父や祖母と同じように、今頃ガンで亡くなっていたことだろうと思うと、とてもありがたく、手
術をして下さった●●(病院名)の先生方に感謝・感謝です。

■ 70代・男性

年金生活での、金銭的負担の高額医療の増額。安楽死の実現。

■ 70代・男性

胃がん手術から2年。現在治療中。がん患者の問題点や対策などわかりやすい方向を示して負担を和らげて欲しい。

■ 70代・女性

がん治療は長期の通院が必要です。医療費の軽減してほしい。私は乳ガン・ジスト・体ガン・甲状腺5回の手術経験しました。胃の切除が一番の苦しみです。リンパ切除があるため後遺症があるため体の衰えが苦痛ではあるが前向きに生活しています。●●(病院名)の先生方々に恵まれて、本当に良かったです。検査でガンの発見が早期のため生かされています。

■ 70代・男性

ガンを部位で分けるのではなく、ガンを1つの科目としてみなして扱ってほしい。主治医が変わることにより、科目が変わることにより、継続性がなくなると思います。

■ 70代・女性

病院の診療時間に合わせて家を出るのですが、自動車以外（公共交通機関）を使用しようとしても時間が合いません。行きは良くても帰りのときは遅い時間となります。病院での時間がどの位かかるのか判からないからです。

■ 70代・女性

がん＝死と思っていた私。開き直って治療を受けました。いちばん大変だったのが抗がん薬治療でしたが、今は一年たち、内服抗がん薬をのみながら、元気にすごしています。

■ 70代・女性

私はステージ4の大腸がんの宣告を受けました。お世話になった担当医師にすべておまかせして私に合った最良の治療をしていただきました。手術後の治療の時もスタッフ（看護師の方）にも温かくお世話して頂きました。今は命をいただいた担当の先生心から感謝しています。ただ術後5年目の再発なく過ごせます様に。

■ 70代・男性

がん患者の家族や、まわりにいる人の心のケアや、がん患者との日々の接し方について、学べる機会が身近にあれば、心強いと思う。

■ 70代・女性

何もかもがんに対して無知であった自分が悪いのですが、肺がん 1.5cmステージ1と知らされ、まさか手術をした後1日24時間これから一酸素チューブの生活と知らされず説明不足だと怒ってます。週りに見た事もないので不自由過ぎる事知らせ納得した上で手術してほしかった。私の一生をこんなにつらいものにしたのは説明不足だった初診の先生と手術した素人先生初めから家族皆なでイヤな感じだった。セカンドオピニオンの大切さが良く解ります。

■ 70代・男性

いずれ人は誰でも死ぬとわかっていてもやはり聞いたときはショックでした。そしてそれは自分より妻の方が大きかった。自分の症状が進んで痛みや苦しさが続けばよく聞く「死んで楽になりたい」という気持ちになるかもしれません。ただ生きている限りまた治療が受けられる限り受けて「生かされていることに感謝し、謙虚に」前向きに生きていきたい。だから仕事以外で地域の活動、ボランティアは可能な限り参加したり役を受けたりしている。これも自分の生きている使命だと思いながら。自分の全細胞がガン細胞を打ちまかすよう一緒に闘いたいと思っています。

■ 70代・男性

自分の現在状態は他の患者と比較して、どの程度の状況か知りたい。自分の状態がどの程度のものか知る事により、自分自身の心がまえができる様に思われる。

■ 70代・女性

がんと診断された時は、母を55年前に乳がんで亡くしていますので、もう死んでしまうと思っていました。今は良い薬がありますので、手術をして3年半たっていますが、病気になる前と変わらない生活を送っています。がんの再発の心配はありますが、病院の医師に何でも相談できますので安心してしています。セカンドオピニオンを希望して今の病院に来ましたが良い先生に出会って本当に良かったと思っています。医療スタッフの方たちには感謝の気持ちでいっぱいです。これからも前を向いてしっかりと人生を歩んで行きたいと思っています。

■ 70代・男性

すい臓を一部摘出後に、機能が維持されるのか、心配であった。

■ 70代・女性

自分なりに健康について気をつけていたつもりでしたが入院1ヶ月前位から食欲不振と倦怠感でかゆみがひどくなり、血液検査（アレルギーがあるのかな？）をして問題が発覚しました。その時には膵臓がんステージ4でした。青天の霹靂でした。その1ヶ月後にバイパス手術抗がん剤治療（FOLFIRINOX）が始まりました。一番いやなことは味覚障害でした。毎日、修行だといいきかせ過していました。しかし一年後効果があって切除手術ができ、術後抗がん剤服用しました。今、切除手術後5年がすぎました。術後は毎回再発の不安が常にあり、いつあっても仕方ないと言いきかせてましたが3年位すぎると今度は生きることへの欲もあらわれてきました。術後5年でほぼ完治と言われました。しかしこの経験は今だから言えるのですが、大切な経験となりました。先生、看護師さん、医療関係の方々への感謝はいいつくせない程です。これからも元気でいることで、お返しができるかと思っています。

■ 70代・男性

最後まで痛みや、苦しみなど少なくして頂きたいと思います。

■ 70代・男性

医師を志望される方で、外科医などを希望する方が少ないという話をよく聞きます。美容整形医や皮フ科医ばかり増えても困ります。制度見直しをお願いしたいです。

■ 70代・女性

がんを早期発見のため、手軽に受けられる検査方法をお願いしたい。

■ 70代・男性

最初は腎臓病で入退院二度くり返し一年位経った頃に骨髄異型性症候群と診断され一ヶ月も経たない内に白血病に移行。最初はびっくりしたけど現在の病状は維持と云う事で治療してますが血小板、白血球数貧血など検査結果も悪くなって来て、少し強い薬の投与で入院2ヶ月を進められます。本人は足も弱くもっと弱くなる心配と入院が●●(病院名)でなく●●病院にと言われて遠くなるので入院を断って通院を選びました。この先どうなるのかなあと少し心配です。入院して治療が始まると必ず高熱の副作用が有り人によっては肺炎になるそうです。その怖さもあります。通院は自転車で行ってます。自由が良いそうです。一応本人の希望通りですがいずれ入院も…今の治療には副作用がありません。

■ 70代・女性

独居高齢者の病状がすすんだ場合のケアの充実をお願いしたいです。

■ 70代・男性

診断確定まで検査スケジュールが月単位で数ヶ月を要しており、その間の心理的な不安は大きい。現状の医療体制では、限界も感じるが、改善してほしい。

■ 70代・男性

甲状腺ガン、ぼうこうガン、食道ガンを経験しました。幸い早期発見で無事に過ごしています。無料のガン検診はありがたいですが、効果は少ないと思います。人間ドックなら効果は大と思いますが、公的負担は無理だと思います。仕方ないですね。

■ 70代・男性

私は生きる望みを持つ為に少年時代から夢に見たレース鳩飼育を始める事にしました。家族からは●才にもなって今さらそんな事をする必要があるのかと言われましたが世話をする事でエサやり、鳩舎の清掃、舎外訓練、又遠方訓練等日々充実した生活をしています。マゴ達も手伝ってくれます。

■ 70代・男性

私の場合は毎年定期健診を受けていたのに、何故、突然、肺ガンとなったか。レントゲン検査で要管理（観察）となっていたがわからなかった。あやしいといった時にC T e t cの精密検査を受けていたなら、進行度も軽度で、終わったのにとくやみます。

■ 70代・女性

●才でガンになったので もう少しだけ生きたいと願う。

■ 70代・男性

健康診断でいかに早期に発見出来るかに尽きます。その他の事はネットで情報が得られます。

■ 70代・男性

がんが完治するのか、治療して延命だけなのか、はっきりしない。しかし、2週間に1回診察いただいているので満足です。

■ 70代・女性

初期がんでしたのであまり心配せずに手術を受けました。定期検診も順調で担当の先生にも何の不满ありません。年一度、人間ドックを受けておりますが小さな症状の発見で手遅れにならない事に満足しております。

■ 70代・女性

身内にがんに対する治療や知識についてわかる人間がいた為相談する事が出来た。毎年検診を受けていたにもかかわらず、見つかった時には5cm以上の腫瘍でstage IVだった。自分の出来る予防はしてきたのに手術も出来ず抗がん剤治療だけになった事。脳転移が見つかって放射線治療を主治医に聞いたが適応外と言われた。しかしセカンドオピニオンをすればサイバーナイフの適応で治療を受けて脳転移は治療出来た。家族が提案しなければ今頃は生きていなかった。自施設だけでなく、どんな選択肢があるのかはちゃんと提案して欲しいと思う。また、病状説明の場に立ち合っていないのがん患者指導管理料（イ）をとっているのにも疑問を感じた。

■ 70代・男性

がんと診断されてから生活が一変しました。診断前と同じように過ごしたいです。治らなくてももっともっとうまく付き合いながら毎日笑って過ごせるようにしてほしいです。

■ 70代・女性

健康診断は無料もあるけれど安い値段で詳しいがん検診が受けられたらいいなあと思います。目標としてもう少こし働きたいと思うから退院後は自宅で自分なり、少しだけれど足を動かしたりストレッチをしていますが変わにしたのか足がかなり腫れた事ありますが頑張っています（もともと変形性ひざ関節炎少し痛みあり）。自宅の周りが坂道なので外を歩くには少し怖さがあります。家で出来る簡単なりハビリやストレッチを教えてくださいと思う時があります。（携帯が苦手なので）

■ 70代・男性

朝起きて庭の草木を観て深呼吸をする。心臓動いている。肺に新しい空気をいっぱいにする。今日も生かされている。今日一日を精一ぱい生きようと思う。何か自分にでも出来ることを1つでも良いから見つけて小さな事でも頑張って行動する。すべての物事に感謝して毎日を生きている。

■ 70代・女性

腸ガンになって朝昼晩の食事時、間隔4時間あけて食べる。30分かけてよくかむ。栄養を考えて10種類まではいかなくても考えて食べるようになった。

■ 70代・女性

自分がこの年になってはじめてがんと向き合いました（70代後半）。ほど遠いものだったので他人事に思っていました。がんを身近に感じ早期発見なら必ず治ると実感しました。医療の進歩には驚くばかりです。がんを恐れず早目の検診をすすめたいです。このようなアンケートを取り行っている滋賀県、各病院に敬意を表したいです。

■ 70代・男性

医療機関で十分な説明もなかった。生体検査（手術前）ではガンではないと言われていた。摘出した組織にガンがありました。潜伏ガンですと言われただけで十分な説明がないままで、ホルモン治療を受けていたが主治医が変わり、症状がホルモン剤で落えられるので、血液検査の結果が不正確になると中止になり現在に至る。医師の知識能力に不安を感じているが自分を信じて明るく、楽しく生きるようにしている。

■ 70代・男性

市からの「健康診査」の案内で検診項目に前立腺がんのPSA検査が受けられるよう希望します。検診の案内の検診項目の一覧に記載して下さい。

■ 70代・男性

今年2月に肝臓に大きな袋状の腫瘍が見つかり手術（部分切除）を受けましたが、それまでひどい痛み等はありませんでした。破裂の危険性を言われ手術を受けました。小さな病巣が1箇所あり現在経過観察中です。術後は週1回のアルバイトへも行き、前よりはセーブしていますが殆ど支障なく生活を行っております。

■ 70代・男性

がん等や、不慮の出来事に対し、いつ起こるかわからないので若い頃から家族が困らないよう、貯蓄や保険等を準備してきた事が良かったと思う。

■ 70代・女性

私自身は、早期発見であったため、今のところ、生活に問題はなく、本当に助かっており感謝しております。もう少しで10年になりますが、がん検診の重要性を改めて感じています。

■ 70代・女性

2年半ぐらいになります。舌癌を経験しました。“ガン”を初めて経験しましたが、転移もなく、完治しました。親、兄妹とも“ガン”はなく、びっくりしましたが、先生のご指導の元、無事、治療して頂いて完治しました。ありがとうございました。再発もなく元気しております。うれしい限りです。

■ 70代・男性

毎年ドックに行っていたので早期発見できました。まわりでもドックも受けてない人が多いので、もっとドックが受けやすい環境作りがいるなと思います。

■ 70代・男性

いつまで治療するのか？説明がありません。

■ 70代・男性

●●センターには、呼吸器内科が無い為、片道1時間程をかけて通院しています。近場での治療は本人も家族も楽なはずです。

■ 70代・男性

私は耳が遠い所為で主治医とうまくコンタクト出来なかった。停年退職なされたので若い先生と替ったので今はうまくいっている。

■ 70代・男性

自治会の奉仕組織任期残り3年あり、今年がんのため途中退会予定。食事の内容を何が良いかインターネットで情報を得た。

■ 70代・男性

満足しています。

■ 70代・女性

(T) 支援について望む事 がんになると日々病気が変化するので、風邪を引いたり食欲不振になったり辛い日々です。治療以外に心のケアも。患者が必要とする時はいつでもサポートしてくれると嬉しいと思います。誰にでも悩みを話をする訳にはいかないのですが、話を聞いてくれるだけでも気分が晴れて、生きていく希望がわいてきます。私の場合は先の事は考えないで毎日毎日その日がどうか暮らせればgood!の気持ちで送っています。

■ 70代・男性

がんと診断された時に担当医師から「残念ですが」と言われた。「どういう意味ですか」と尋ねたが「発見が遅れたから」というような意味のコトバを言われたが不快であった。どんな意味であっても、患者に伝えるコトバではないと思う。本当に不快でした。患者は不安な気持であり、説明や治療方針などを詳しく伝えられるとある程度軽減された気持を持てると思います。ハード面よりも気持を安定させる対応が重要だと思います。安心して治療が継続できるような気持にさせて欲しい。

■ 70代・女性

主治医の言葉で救われました。患者本人には言わなかったけれど、家族や治療に当たってくれる他の医師に「僕が絶対助けます！」と宣言して、手術をしてくれました

■ 70代・女性

病院の医師もていねいに話を聞いて下さった。友達とも病気の話をすると言うより、いっぱい話をしたり 趣味の会等にも参加して、考え込む事は少なかった。図書館で、がんに関する本はほとんど読んだ。その為、あまり落ち込む事はなかった。

■ 70代・女性

がんの早期発見にどう取りくんでもらえばよいのか？自己責任ですね。私の場合2年に1回人間ドックや各検診を受けてきました。それで発見できたのですが、それでも発見が遅くて、結局手術することになりました。実は手術までにもいろいろあり道のりがハードで大変でした。どうしたら早期発見ができるのかなあ。がんになると、食生活や生活習慣など日常の何が悪かったのかと自問自答しています。肉も乳製品も豆類もダメとSNSで調べては、「食べる物が無い」と悩みます。「よくかんで」「塩分少なめに」「腹八分」「運動をして」と医師にもSNSでも言われます。病院に行くたびにがん患者さんが増えた気がします。がんにならないための予防方法（食生活、食べる物、生活の仕方など）をどんどん発信してほしいなあとくり返ししてほしいなあとは思っています。

■ 70代・女性

私の場合乳がんのしこりを自分で早期に見つけられた事、年令的に躊躇する事無く、全摘出した事、幸いリンパに転移も無かった為、抗がん剤治療もせずに済みました。早期発見出来れば、決して怖い病気では無いので検診や人間ドックなどを手軽に受けられる様に考えて頂きたいと思っています。

■ 70代・男性

良い先生に出会い、良い薬で生かされています。自分を見つめ直す機会と成りました。1日でも長く生きて良い薬に出会える事が重要と思います。

■ 70代・男性

私の様に高齢者で、金銭的にも高額医療費のおかげで、安心して治療に専念出来る世代は良いが、現役世代や、子供で病気になったら大変だと思う。負担は少ないに超した方が有難いが、もう少し負担しても問題無いのではないかな？運悪く、若くしてガンや病気になった者に対するサポートを厚くした方が良いと思う。ガンになり、人間（私）の生命には終りがあるのだと実感した。元気になったら悔いのない毎日を過ごそうと思っています。

■ 70代・男性

夫婦ふたりだけの生活の中がんとわかり毎日が不安ばかりで特に夜などは心配でした。痛みを言う時にどのようにすれば良いのか不安と心配だけの日々でした。

■ 70代・男性

私は当初（頻尿）で主治医に相談（血液検査：判定高い）●●センターを紹介されMR I（膀胱に腫瘍：悪性リンパ腫）結果は、ステージ（1）でした。先生から、薬療法（抗ガン剤の投用と飲み薬）の方法での話し合いで、検査入院2日、抗ガン投用とデータ彩りで18日間の入院でした。（ガン発見の過程です）※前立腺は陽性（肥大手術のみ）現在は1回／月の経過観察です。以上

■ 70代・男性

私は尿管結石により腹部が痛くなり病院へ救急で診察を受け、肺に異常が見つかりがんの転移と判断され前立せんがんが見つかりました。まず早期発見をしてもらいがんも非常に小さくさいわいと思っています。現在は抗がん剤治療を受けております。早期発見に感謝しております。

■ 70代・男性

私は現在退職し年金生活で白血病の抗がん剤治療しています。初期の時医師に相談した事があります。現在抗がん剤の処方期間が滋賀県では最長8週処方と聞きましたが治療費用の事もありますので12週にならないかたずねましたが駄目でしたが出来る事であれば最長12週にして頂きたいです。私の外来内容は血液内科・循環器内科（心筋梗塞）・呼吸器科高額医療制度で薬局に18,000円の支払をしています。

■ 70代・女性

化学療法を受けて倦怠感を強く感じてトラウマとなっています。手術、薬剤治療を受けて完治までの期間をととても長く感じます。治療の負担が軽減できるような新しい治療方法を見つけることを、苦しむ人が減ることを祈っています。

■ 70代・女性

検診のオプションで、ガン検診もありますが、費用が高く、オプションをつけることを断念することがあります。誰もが気軽にガン検診を受けられるようにしてほしいです。

■ 70代・男性

早期発見で治療が出来、手術も術後の経過観察や定期通院検査も順調で特に問題はありません。私は「福祉医療費受給券」も交付されており、比較的優遇されましたが、やはり就労・就学支援体制の推進が必要と感じます。

■ 70代・男性

がんについての検診ももっと安く受けられると発見も早いと思います。検診を受けなさい早期発見と云うわりに●●市は2年に1度しか安くならずついおこたってしまう。そのことも行政でもっと考えてほしいです。

■ 70代・女性

R6.8.手術、R7.9月から月1回抗癌剤点滴。R6.11.復職アルバイトとして、1日4時間週2日。家庭菜園を少々しているが続けるかどうか悩んでいる（体にいいのか）。息子と同居の為食事の準備や買い物等している。重い物持つのが少々つらいのでこの生活が私らしい生活なの？と思うが…どんな生活がいいのか。週1回カラオケに友人と行くのが楽しみ。

■ 70代・男性

今回前立腺がんが診断されるまでの経緯の説明と疑問に思ったことを話します。血尿が出たのでかかりつけの医院で診て貰ったら、膀胱炎と診断され抗生物質の薬を貰いました。薬が無くなる頃未だ血尿が治まっていなかったので、再度診察を受け尿検査をして貰いました。外部依頼されていたので1週間かかりました。それで結果は問題ないと言われました。それでかかりつけの医院が信用できず●●病院という総合病院で診て貰ったら前立腺がんが診断されました。で、その病院では設備がなく●●センターを紹介していただきました。そこでは色々な検査とホルモン注射をしていただき次の段階、手術か放射線治療の選択になりました。放射線治療を希望したらこの病院では設備がないので●●センターという病院を紹介され現在放射線治療前の準備段階です。まずかかりつけの医院はなぜがんではないかと疑問を抱かなかったのか？という点です。これは制度とかの問題ではないと思いますが、●●病院からの紹介していただく病院は●●病院か●●センターどちらにしようか迷ったのですが、●●センターの方が新しく大きいと思ったので選んだのですが最新設備がないとは？と思いました。最新の治療が何処の病院でも受けられるように期待いたします。予備知識として前立腺がんは進行が遅いと聞いていたのと、●●病院、●●センターでも医者話し方がそれほど深刻そうでもなかったのも、「がん」というワードにもそれほど驚かなかったです。でも思い起こせば「治療方法と治療の流れ」の説明はありましたが「必ず直る」とか「心配いらな」とかの言葉がありませんでした、「がん医療や制度・支援について望むこと」については幸い軽かったのも今分かりますが皆さんの意見をできるだけ取り入れていただきたいと思います。

■ 70代・男性

検診をためらっている人が多いと思う。受けたらポイントが付く等特典があると良いと思う。

■ 70代・男性

医者はガンについて専門用語を使って説明するが、一般社会にない術語なので一般人には理解できない。その事再問するとあいまいな回答する医者が多い。正確に病態が判らないと治療法もどうすれば分らないではないか？看護師に尋ねると病状に関する事は医者に聴いて下さいと回答をさける。事後の言質を問われない為と思うが、それが連らなると、不信感だけが積る。良くも悪くも正確に表現される事が、その後の判断につながると思うが…？どうだろう。この事はたどって考えると子供の頃からの人の生と死の概念を教えていかなと素直に自分自身の事として考え、判断する。その事の責任を他者に求めない。その概念が相互になれば医者はほんとうの事を言わない。患者はうまく行かない時は自分の対応が何であれ、病院、医者のせいにする。良くも悪くも当人に伝え、その中から相互が思う治療方法での結果は自身が受け取る様な考えがなければ、これからも相互に不安と不信の積み重なる治療ではないか。正しく不明の患者に判る様にガンの状態を伝える言葉が必要ではないか。専門用語でなく。

■ 70代・男性

がんは早期発見が重要であることをしみじみと感じました。私の場合すい臓がんで初期の発見とのことでした。切除手術で治療して頂き感謝します。

■ 70代・男性

胃ガンの為食事の問題、胃がない為一度に食べられないのが残念でなりません。

■ 70代・女性

毎日普通の生活が出来てごはん三度おいしくいただいてよくねられたらいいと思います。

■ 70代・男性

私の場合、大腸（結腸）がんと診断され、ステージ3期と判断され、放射線治療にて、がんを小さくし、その後摘出手術をしました。説明では、がんは肛門付近に出来ており、摘出後は人工肛門（ストーマ）着用する必要があると説明されました。がんに対する知識がなく、人工肛門がどのようなものであるか、又着用後は日常生活にどの程度支障が生じるか等、全く理解が出来ませんでした。現在、手術して2年余り経過しました。幸い現在のところ転移しておらず、再発しておりません。肛門がない為、ストーマに排泄致しますが、自身の意識でコントロールが出来ない為、公の場に参加することに（冠婚葬祭等）ためらいを感じます。風呂も湯船につかるには抵抗を感じ、現在はシャワーのみで、すましております。温泉旅行等にも参加してみたいのですが、抵抗があります。

■ 70代・女性

予約しているのに、待ち時間が長い事、朝早くから来てるのに…

■ 70代・女性

がんと診断されて十数年、その間自問自答で戦ってきました。その間主治医の先生、看護師さん私を取り巻く医療従事様、沢山の人達に囲まれここまで生き延びて来ました。本当にありがとうございます。これからも宜しくお願いします。感謝です。気持ち立て直し、いつも明るく生活して参りました。それは私を取り巻く人々のおかげ様だと感謝しています。ありがたい事です。一つはある時書物を読んでいた時「病気であっても病人にはなるな！！」の文、私の心に沁みました。それ以来私は病気に対しても何に対しても前を向く様、心に決めました。私の信念はいつも心穏やかに笑顔でいよう…と。とは言っても人間ですから時にはお助けをお願いします。長丁場です。宜しくお願いします。

■ 70代・女性

●才の時市の健康診断をうけて心臓弁膜症が見つかったけれどそれ以後血液の検査を何度もしたのに腎臓ガンが見つかることなく、階段を落ちたことでCTをうけみつかった。血液検査で何かしらみつからないのかなあ。階段落ちた時めまいがしたことが症状だと思いますが、もっと早くみつかるといい方法はないのかなあ。

■ 70代・男性

これから先の事が良くわからないので不安しかない。急に病になったため、良くわからない。

■ 70代・男性

両親の介護を11年間しました。辛い事がたくさん有りましたが充実した日々が送れたと思っています。又、あまり話さなかった私と両親の距離が介護する事によって近くなったと思います。ただ介護期間中に健康診断を一度も受けなかった事が悔やまれます。

■ 70代・男性

放射線30回と抗がん剤2種類で、抗がん剤は2回目までは、ほとんど副作用がなかったが3回目に8分ぐらいで急に気がなくなりかけ「止めてくれ！！」と言ったらしく血圧が200ぐらい上がったらしい。それから抗がん剤はやめ放射線のみで治療は終わりました。しかし、全てなくなったわけではなく、現在も3週間づつ免疫チェックポイント阻害薬を点滴しています。増えすぎず、なくなりもせずで、一生持ちつづけられないがん病気かも？買い物、調理、趣味のDIY、野菜作り、1人暮らしではとても忙しいです。今不安なことは年を取ることによる薬の副作用で医者さんとてわからないと思います。

■ 70代・女性

いちばん最初にペットでひっかかり女の先生にみていただいたら、まだペットでは乳ガンはわからず高いのにそんなの受けてと鼻で看護師さんに話しかけ笑われその時は検査もなにもなく一年後に来てくださいと言われ一年後に行ったところ乳ガンですと言われショックでした。いまだにひきずっています。その時みて検査などしていたらと思うと悲しくなります。今は動いたりはできますが娘と暮らしていますので生活するのには不便はありませんしよくしてくれていますのでいいのですがこれからさらに悪くなることも考えられます。あの時もっとみていただいていたらと後悔しております

■ 70代・男性

コロナの時期に食道癌になり手術できないところが多くなり、探すのが大変でした。

■ 70代・男性

自分らしくあまり気にしない事

■ 70代・女性

がんの一番の苦しみは、痛みを取りのぞく事で、食欲の低下です。日々の暮らしでその事が悩み所です。その為に、体力低下（筋力低下）につながり生活が困難になる。家族・医療者・友達とのコミュニケーションが大事だと思いました。

■ 70代・女性

幸いなことに先生方始め医療機関の方々によくしていただき、不安もとりぞいて日々治療を受けることができました。身内の支えもあり安定した生活を送っています。療養中の今も病院、支援サービス、身内等温かい人々の支えの中で自分にできる暮らし方で過ごしています。

■ 70代・女性

夫婦二人で暮しています（子達は近くに居ます）が、夫の方が先にがん患者となり、毎日、体調不良を訴えている状況で、自分の体調が少々悪くても、夫の方に手を取られてしまい、精神的に参ってしまうことがある。二人とも互いに付き添いながら通院しています。

■ 70代・女性

ガンになって4年になりますが、抗がん剤の副作用に苦しめられましたが、手術をして1年間は、ゼジューラで過ごせ、体力も快復してよい1年でした。でも2年目で再発してしまい、お医者さんからもう完治はありませんという言葉聞き、すごく落ち込みました。それと、一番辛かったのが、お医者さんが、1年ごとにかわる事でした。せっかく、お医者さんとの関係が築けた時に移動されて、ショックでした。心のよりどころがなくなる様でした。大きな病院だと、仕方がない事ですが…患者側は、不安で仕方ありませんでした。まだ治療中ですが、前向いて、生きていけたらと思っています。家族にもたくさんささえてもらい、ありがたいです。

■ 70代・女性

今、一番思うことは、ガンは早期発見をすれば、ほとんど治る病気の様に思います。日本は、ガンの早期発見につながる活動がまだまだのようです。医療関係の皆様は、早期発見できる仕組みを是非ともつくって欲しいです。交通事故死が3万人あった時代から1万人を切るようになりました。胃ガン等は胃カメラを受けたりしていましたが、大腸ガンは、便検査だけでは見つかりませんでした。腫瘍マーカー等で調べていただける様になると（検診等で）有難いです。

■ 70代・男性

私、●才で退職しこれからと思った時にがんがわかり経過観察まで2年かかりましたが抗がん剤服用処置中は大変でしたがいつも通り生活をしておりなんら問題は無かったおかげ様で転移が無かったからです。

■ 70代・男性

ひとりくらしなので生活が不安。

■ 70代・男性

治療中の検査結果を説明をもっと分かり易くしてほしい。